



市役所でも男性の育児参画をすすめています!!

平成26年9月に実施した「大津市男女共同参画に関する市民意識調査」において「男性が女性とともに家事、子育て、介護等の家庭生活に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか」という質問をしたところ、次のような結果となりました。

男性が家事、子育て、介護等の家庭生活に積極的に参加するために必要なことBEST5 (複数回答)			
全体	1位	夫婦や家族間のコミュニケーションをはかる	40.7%
	2位	社会の中で、男性による家事、子育て、介護への評価を高める	38.8%
	3位	男性自身の抵抗感をなくす	38.1%
	4位	労働時間短縮や休暇制度普及により、仕事外の時間拡大をはかる	36.5%
	5位	まわりの人が、夫婦の役割分担等の当事者の考え方を尊重する	20.7%
男性	1位	夫婦や家族間のコミュニケーションをはかる	40.9%
	2位	労働時間短縮や休暇制度普及により、仕事外の時間拡大をはかる	39.4%
	3位	社会の中で、男性による家事、子育て、介護への評価を高める	38.6%
	4位	男性自身の抵抗感をなくす	35.9%
	5位	男性が家事等に関心が高めるような啓発や情報提供を行う	17.0%
女性	1位	夫婦や家族間のコミュニケーションをはかる	40.4%
	2位	男性自身の抵抗感をなくす	40.1%
	3位	社会の中で、男性による家事、子育て、介護への評価を高める	39.5%
	4位	労働時間短縮や休暇制度普及により、仕事外の時間拡大をはかる	34.2%
	5位	まわりの人が、夫婦の役割分担等の当事者の考え方を尊重する	24.8%

(H26大津市男女共同参画に関する市民意識調査報告書より)

「夫婦や家族のコミュニケーションをはかる」という項目を選択された方が最も多いことがわかります。また、男性では「労働時間短縮や休暇制度普及により、仕事外の時間拡大をはかる」が2位となりました。ここからは、家庭生活へ積極的に参加するにも、長時間労働などにより仕事外の時間が不足している現状がうかがえます。男性も女性も生き生きと働き、仕事と家庭をともに充実させるためには「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」を推進することが課題となっています。

そこで、大津市では「ハッピー“育Men” (男性育児参画) 実行方針」を定め、「育児参画フローシート」や「育児参画計画書」の活用などを通じて、市役所内での“男性の育児参画”をすすめています。大津市役所が市内事業所のロールモデルとなれるよう、ワーク・ライフ・バランスを確保し、「子育てしながらも働きやすい」と実感できる職場環境づくりに取り組んでいきます。



女性力室が誕生しました



女性も男性も仕事と子育てに参画することを通じて、女性の力が発揮される社会の実現を図るため、平成27年4月1日、人権・男女共同参画課内に「女性力室」が設置されました。

執務室には、越直美大津市長が「女性力」が満ちた大津市実現への思いを込め、市の木である山桜をあしらったヨシ紙に「女性力室」の文字を自書した看板を自ら掲げました。

